

段階	対象レベル	期待する役割	研修・セミナー	
			日本救急看護学会関連	学会外の主なプログラム
ステップ I	ビギナーレベル1 救急経験1年未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>●異常を察知し、緊急性を判断できる</li> <li>●一次救命処置を実施できる</li> <li>●止血・包帯法、創傷ケア等の応急処置を実施できる</li> <li>●急性症状への初期対応ができる</li> <li>●救急患者および家族の擁護者になることができる</li> </ul>	◇ファーストエイドコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>■AHA*-BLSヘルスケアプロバイダーコース</li> </ul> <p>*AHA; American Heart Association アメリカ心臓協会</p>
ステップ II	ビギナーレベル2 救急経験1-2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●急変時に必要な処置の根拠を理解し実践できる</li> <li>*急変、外傷患者の看護に必要な基礎的知識が理解できる</li> <li>*二次救命処置が理解できる</li> <li>*救急医療で使用されるME機器の取り扱いができ使用上の注意点を理解し使用できる</li> <li>●救急患者の特殊性を理解した看護実践ができる</li> <li>●救急患者や家族の心理が理解できる</li> <li>●災害時に自施設での応急救護活動ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇フィジカルアセスメントセミナー</li> <li>◇基礎病態セミナー</li> <li>◇災害看護初期対応セミナー</li> </ul>	
ステップ III	スタンダードレベル 救急経験3-5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>●救急看護師の役割を理解し業務を遂行できる</li> <li>*救急患者の観察とアセスメントにより看護上の問題を抽出できる</li> <li>*フィジカルアセスメントに基づいて緊急度・重症度を判断し、看護上の問題抽出ができる(トリアージ)</li> <li>*迅速で的確な看護判断に基づき看護実践ができる</li> <li>●チームの一員としての行動がとれ多職種との連携が取れる</li> <li>●患者や家族の心理を理解し適切な対応ができる</li> <li>●災害現場での応急救護活動ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇JNTEC(外傷初期看護セミナー)プロバイダーコース</li> <li>◇トリアージナースコース(仮)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■AHA-ACLSプロバイダーコース</li> <li>■ISLS(脳卒中初期診療)コース</li> </ul>
ステップ IV	チームリーダーレベル 救急看護6年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●根拠を持った看護の実践とリーダーシップが発揮できる</li> <li>*行った看護ケアの評価・修正ができる</li> <li>*患者の急変時にチームの調整役が発揮できる</li> <li>*状況の変化に即応した判断・対応ができる</li> <li>*ステップ I・IIの看護師に対して指導・教育ができる</li> <li>*救急外来におけるトリアージの指導ができる</li> <li>●患者や家族の心理を理解し適切な対応において、リーダーシップがとれる</li> <li>●臨床現場での問題に対し研究的視点で取り組むことができる</li> </ul>	◇JNTECインストラクターコース	■AHA-PALSプロバイダーコース
ステップ V	スペシャリストレベル 認定看護師(CN) 専門看護師(CNS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●救急領域の調整(コーディネーション)、相談(コンサルテーション)、倫理調整、マネジメントができる</li> <li>●卓越した看護実践が提供できる</li> <li>●救急領域の看護師対象にとどまらず教育活動ができる</li> <li>●研究指導ができる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>□認定看護師教育課程(教育機関)</li> <li>□専門看護師教育課程(大学院修士課程)</li> </ul>

\* 対象レベルの救急経験年数は目安である。2次救急、3次救急など施設に合わせて、経験年数を設定する。